



第 40 号

千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:河津 一行

今年を振り返って

副代表理事 河津一行

早いもので、今年もあとわずかになりました。全国的には台風による大雨などで甚大な被害があり、決して他人事ではないと思われる災害が多数ありました。幸いにも、のきの郷としては大きな災害や被害もなく穏やかな一年で終われそうです。



このように、次の時代を担う礎を確立し事業を進めるべく検討を進めております。組合員の皆様には賛否両論あるのは充分承知しておりますが、来年2月の通常総会には理事会で整理したものを皆様にご提案させていただきます。どうか更なるご理解ご協力をよろしくお願い致します。

さて、今年2月に新しい拠点としての研修棟が完成し、各事業も無事に遂行してまいりました。これも組合員の皆様のご協力とご理解の賜物と感謝しております。事業の内容としましては、総務関連事業として、今年はいままでイベントを見直し予算と力をすべて7月に開催した『きてごしな祭り』に注いだところでです。また中長期プランの遂行のため、組織体制の再編、雇用体制の確立に検討を重ねております。営農関連事業としては、従来の農産物の計画的栽培はもとより10月の臨時総会です承を頂いた水稻の育苗施設

の施工に入っているところです。また、同じく臨時総会でご報告させていただきましたきとぶどう栽培についても再検討させていただいております。

最後にになりましたが、来年の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして今年を締めさせていただきます。本年はまことにありがとうございました。



安来市農林業祭

11月17日(日)に第15回安来市農林業祭が安来市役所伯太庁舎にて開催されました。今年ものきの郷はトマト、なたね油の販売と新米つや姫のすくいどりを目玉に出店しました。当日は天気も良く出足もまずまずでした。米のすくいどりはお昼前で終了となり、とまとも早々に完売となりました。



お祭りも盛況で、イノシシ汁などの無料配布や抽選券配布では長蛇の列が出来ていました。

コメ収量

今年の米の出来高をご報告します。昨年とほぼ同等ですが、コシヒカリが台風の影響で倒伏したため収量が落ちています。



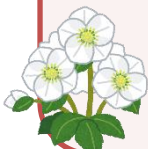
品種名	反収(俵)
つや姫	9.3
コシヒカリ	8.1
きぬむすめ	9.2
にこまる	7.6
ハクトモチ	7.1

乾燥調製施設の作業割合を玄米処理量にて比較しています。

施設名	割合
利弘カントリー	64.6%
ライスセンター	19.0%
のきの郷	16.4%

つらつやいませ

11月8日 安来市農業委員会 視察研修
11月21日 兵庫県豊岡 土地改良区 視察
11月26日 広島県久井町 農業集団連絡協議会 視察





大豆の刈取りも終わり、白鳥がやってくる季節となりました。そんな中、田んぼでは次の作付けに向かって準備を始めています。刈取り後の稲わらをロールにして畜産農家の方が持ち帰った後には堆肥が持ち込まれ順次散布されていきます。その合間には、サブソイラーを使って弾丸による簡易暗渠を施工しています。

菜種は小さな葉を広げ、小麦は芽を出し条に並んでいます。キャベツは12月初めに初出荷を迎えます。

育苗ハウス建設

先日の臨時総会にて採択された、育苗ハウスの建設工事が着々と進んでいます。来年2月には竣工予定で、来春より苗たてが始まります。



お知らせ

◎ 防獣ネット

今春まで育苗時にヌートリア除けとして使用していた防獣ネットが来期より不要になるため、入用な方に差し上げます。ご希望の方はのきの郷事務所までお声掛けください。

◎ 令和元年産なたね油販売

令和元年産なたね油が出来上がりました。昨年はなかった900ml瓶を再開しました。包装、のし掛けまで承りますので、お歳暮の一品に是非ご利用ください。

新規雇用者紹介

11月1日より常時雇用者を採用しましたので紹介します。



◎林 利彦

(飯生町)
農業に関して知識も経験も全くなくセ

口からのスタートですが、これからいろいろ勉強しつつのきの郷での活動が地域活性化に結び付けられるよう頑張りたいと思います。よろしくお願致します

亥の子やん

11月最初の亥の日のことです。この日が来ないと「コタツを出さないとか、夜に歳神様で子供相撲があったり、亥の子餅をついたりなどの行事もありました。また「亥の子さんの晩に祝わぬものは、蛇産め、子産め、角の生えた子産め」という唄もありました。
子孫繁栄、収穫のお祝い、無病息災を祈るお祭りです。

お悔やみ申し上げます

利弘町 井塚 由栄 殿

ちよっこし聞いて

11月に入っても暖かい日が続き今年もやはり暖冬かな、なんて思っていたらこのところの急な冷え込みで冬を感じています。冬至を迎えるまではまだまだ日が短くなります。夕方と思つ間もなく夜になってしまいませんか？秋の夜長は何をなさいますか？私はきつとコタツでうたた寝だな。(w)

